

～ 生命の種を蒔いて 地球を守ろう～

第3号 2010年 春

菜

なたね

種

編集と発行

北栄町農業委員会
北栄町土下112 (北条庁舎)
(0858) 36-5567



春風にそよぐ 黄色いじゅうたん

北栄町が平成20年度から行う「菜の花プロジェクト」に取り組み農地では、今年もかわいらしい菜の花が咲いて、人々の目を楽しませました。

この「菜の花プロジェクト」では、休耕田などの耕作をしていない農地を有効活用して菜の花を栽培し、栽培した菜の花から菜種油を採って販売しています。また、家庭や事業所から使用済みの食用油を回収して公用車の軽油代替燃料として使い、地域内循環型社会の形成や、環境問題に対する関心の高まりに一役買っています。

このプロジェクトに昨年度参加したのは、町内の休耕田などの所有者ら14人で、町の委託を受けて約5ヘクタールで菜の花が栽培されました。

搾油された菜種油は、瓶詰めにしておだいば市場等、町内で販売され、昨年度は約三〇〇本が完売しています。

「菜の花プロジェクト」の一環として、菜の花畑をコースの一部とした環境バスツアーや、写真コンテストなどのイベントも開催し、このプロジェクトや環境問題への取り組みに、より多くの人が興味を持って参加することが期待されます。



新任の「ごあいさつ」
北栄町農業委員会事務局長
野村 良太

今年4月1日より北栄町役場農業委員会事務局長（産業振興課長兼任）の職を拝命致しました野村良太と申します。この場を借りて、簡単に自己紹介と今後の抱負について述べたいと思います。

私は、今回の異動まで、東京・霞ヶ関に所在する国の行政機関（農林水産省・公正取引委員会事務局）に勤務していました。今日の政府の置かれた状況をみると、私が就職した当初のそれとは隔世の感があります。

新興国の急速な経済成長等に伴う中長期的な食糧需給の逼迫懸念、都市部の若者や企業・NPOが新たに農業に関わりを持つとする動きが全国的に広がっていることなどを背景に、社会全体が我が国の農業・農村に対し、これまでに無く大きな関心と期待を寄せているように思います。また、農政当局を含めた政府の行政機関には、昨年の政権交代に伴う「政と官」の在り方の変化、

国家財政の末期的悪化、我が国競争力の相対的低下といった極めて制約的な環境の中で、国民のニーズや複雑な経済社会の動きを敏感に察知し、ロー・コストかつハイ・パフォーマンスな政策を立案する能力が求められていると感じています（個々人の研鑽は固より、組織の多様性・柔軟性が不可欠です）。

他方、農業振興に対する行政の関わり方については、経済情勢や民意の動向によりその時々で異ならざるを得ませんが、農業も一つの経済活動である以上、行政の支援如何に左右されることなく、農業者や地域の関係者が主役となつて、外部の知恵や技術を上手に活用し経営感覚を磨きながら自律的に事業を発展させていくべきものと考えています。

北栄町役場での仕事については、これまで経験してきた仕事の性質や方法自体が大きく異なりその多くが未知の領域のため、毎日戸惑うことばかりですが、早く仕事と生活に慣れ、北栄町農業の現状や課題を十分に研究して少しでも本町農業の発展に貢献できるように尽力して参りたいと考えています。どうか地域の皆様のご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。

北栄町農業委員会が表彰されました

4月8日東京で開催された全国情報会議（全国農業会議所等主催）において、新聞活動、農業青年金の広報等、情報活動に功績があったとして、県内3町の1つとして北栄町農業委員会が全国農業新聞優秀農業委員会・団体等表彰を受けました。

全国農業新聞は、新たな農政の展開の中で、力強い農業経営と活力ある農業・農村を確立するために必要な情報を提供しています。ぜひ読んでみてください。

発行日 毎週金曜日
購読料 1ヶ月六百円（送料込）

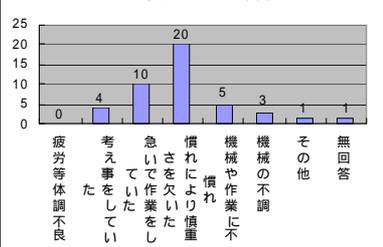


農作業中の事故に気をつけましょう！

鳥取県農業会議が昨年行った「農業担い手の安全管理等に関する実態調査」によると、北栄町で回答のあった経営体（認定農業者・個人42、法人3）では、「日頃注意を払っている」としたものが88%以上で、総じて高い安全意識を持っていました。しかし、事故経験者（約2割）やヒヤリ経験者（約6割）が非常に多く、事故の理由は「日頃の慣れで慎重さを欠いていた」「急いで作業をしていた」というものが大半でした。

事故は「トラクター」「耕耘機」使用中が多く、事故の種類は「機械の転落・転倒」「機械等へのはさまれ」が多く見られました。

表 事故・ヒヤリの原因



“がんばっています” ～砂丘地農業に 第2の人生をかける～ 今村 憲治



私はこれまで東京で会社役員をしていましたが、日本の食糧自給率低下や食の安心安全などを見聞きするにつけ、食は自身で守りたいという思いと農業のビジネスチャンスに残りの人生をかけてみた

という思いが高まり、平成20年に鳥取県立農業大学校・経営学科果樹コースに入学しました。今年3月に同校を卒業して、現在、江北の淀瀬裕昭さん、千賀子さんご夫妻の下で砂丘農業全般を学ぶべく研修のお世話になっております。

研修後はブドウづくり10年の伝統がある北栄町でブドウ栽培を中心に営農したいと考えておりますが、多くの方から「ブドウ栽培だけでは農業経営は難しい」というご意見をお聞きし、生食ブドウと加工品としてのワイン造りでの「農の6次産業化」と白ネギ、メロンなどの複合栽培で砂丘農業の可能性を求めたいと計画しています。

農業大学校では主にブドウ栽培を学び、白ネギ、メロンなどは初めて扱う作物で研修に戸惑う日々ですが、淀瀬ご夫妻の温かいご指導をいただきながら奮闘しています。

この先、農業以外にも今までの経験を活かして地元で貢献できるように頑張る所存ですので、なにとぞよろしく願います。



魅力的な農業経営をするために

家族経営協定を家族の話し合いの中から結びませんか

例えばこんなこと・・・

後継者が結婚
お嫁さんの立場を考えたときに

後継者として就農

農家にとって休日も一日の就農時間も
決まっていない、そんなのおかしい!

農業経営をもっと合理的にしたい

今のままでは
“もうかる農業”ができない

役割分担を以下のとおりとし、農繁期には協力し合う
経営主：経営管理、農作業計画、米、搾乳、地域
配偶者：労務健康管理、農業簿記、家事全般、搾乳
後継者：作業日誌、飼養管理、搾乳
後継者の配偶者：家計簿、育児、飼養管理

農業経営から生じた収益について、下記の額を毎月末日に個人名義の口座に振り込むものとする。

経営主： 万円 配偶者： 万円
後継者： 万円 後継者の配偶者： 万円

1日の労働時間は8時間を原則とし、農作業の繁閑により、協議の上延長または短縮する

原則として日曜日、祝祭日は定休日とする。休みを取れなかった場合は、代休を設定する。
後継者およびその配偶者は、参観日になるべく出席する

各種研修会、交流会、視察等には積極的に参加する。

家族経営協定書はモデル協定書などをとって、それぞれのご家族に合わせ、修正することで作成することができます。また、実行が難しい項目などは記載しなくてもよいので、無理のない協定書をつくれます。ただし、農業者年金の政策支援加入、認定農業者の共同申請については、必要な要件(意思決定への参画、収益分配など)があります。農業委員会では、内容についての相談から作成のお手伝いをします。調印式等はご希望に応じて行います。

協定で何がわかるの？(協定締結者の声)

- ・共同経営者として位置づけられたことで「甘えは許されない」という想いが出てきた。
- ・分担が明確になったことでこれまで以上にその作物に対する「研究・学習」する目が向いてきた。
- ・作業時間の目安がたたずダラダラしていたが、目標時間を設定することで頑張れるようになった。
- ・給料で受け取り、家計費を各人が出し合うことで「報酬」もけじめがついた。
- ・「自分のためのお金」を持てるようになった。 ・後継者に「次の経営意識」がでてきた。

女性も農業者年金で人生の設計を考えてみませんか

農業者の老後をしっかりと支えるのに最適な農業者年金ですが、女性の加入は男性の1割にも満たない状況です。女性の平均余命は男性より5年も長いと言われています。特に農村においては、農業経営において主だった夫に先立たれた時は、妻はどうなるのでしょうか。自分のライフプランをしっかりと設計して、老後にそなえたいものです。

そのために、女性の農業者年金の加入をおすすめします。

農業者年金は

20歳以上60歳未満
国民年金の第1号被保険者
年間60日以上農業に従事

上記すべてを
満たす方なら
どなたでも
加入できます

農業者年金のメリット

- ・安心の積み立て方式 少子高齢化時代に強い
- ・支払った保険料は、全額社会保険料控除 節税できます
- ・生涯もらえる終身年金 80歳までの保証付き
(仮に80歳まで亡くなられても、80歳までに受け取れるはずであった額の現在価値に相当する額を「遺族に支給します」)

・担い手に手厚い政策支援 一定の要件を満たす担い手に保険料の国庫補助があります

シリーズ 農業委員活動

農業者年金の加入推進

農業者年金は「農業者にもサラリーマン並みの年金を」と発足した、農業者の「老後生活の安定・福祉の向上」の目的とともに、年金事業を通じた農業政策上の目的をもあわせ持つ制度です。

北栄町農業委員会では、JAと連携して加入推進班を組織し、農業者年金制度をおすすめしています。



農地流動化情報

各集落や地区内における農地の売買契約、貸借契約に至らなかった土地について、地区外などからも広く対象者等を募ることを目的として、流動化の情報を公開します。

詳細については「農地流動化情報台帳」として農業委員会でご覧いただけます。

買い手、借り手の方については、耕作面積等農家要件が必要です。

掲載を希望された平成21年度からの情報です。

《売りたい・貸したい》

	農地の所在	地目	面積(a)
1	国坂 東沖小野	畑	5
2	弓原 中浜	畑	11
3	東園 日本隠	畑	11
4	大島 センカ鼻(2筆)	田	38
5	妻波 天神前	田	24
6	妻波 寺ノ上	畑	3
7	妻波 中ノ谷	畑	18

《借りたい》

	農地の所在	地目等	作付予定作物
1	北条地区	ハウス 30m以上	トマト、ハウレンソウ
2	北条地区	畑 20a以上	キャベツ、ブロッコリー

直売所ニュース

～安心・安全をお届けします～

J A鳥取中央では「食」の安全・安心をスローガンに生鮮食料の生産者の顔が見えるマーケットとして「直売所」が運営されています。消費者の皆様は食生活の安全・新鮮食料品の提供等を通じて、健康志向の環境に寄り添っています。生産者は栽培管理日誌によるチェックシステム運用で一層の安全・安心な農畜産物の生産に心がけて消費者の皆様は喜ばれる生鮮食料品を提供しています。

直売所

「旬鮮プラザ満菜館」「フルテリア」「フルテリア西郷店」「夢マーケット」「湯の関ふれあいハウス」「あぐりポイント琴浦」「楽市楽座」「新鮮市場プラッツ中央」

大栄加工所「サラダハウス」には今年8月の予定で「米粉製粉機」を設置する運びになっています。使用方法等は今後、検討する予定です。



原稿募集のお願い

農業委員会では、「農業委員会だより 菜種」に掲載する記事を広く募集いたします。

「菜種」の中で自由に農を語ってみませんか。

農業委員会では、たくさんの方の意見を参考にしながら、北栄町の農業発展に役立てていきたいと考えています。

町民の皆様と一体となって「農業委員会だより 菜種」をつくりたいのです。

新しい農政が始まります

戸別所得保障モデル対策加入受付中!

受付期間 平成22年4月1日～6月30日

水田農家の経営安定・食料自給率の向上を目指し、戸別所得補償モデル対策が行われます。

水田利活用自給力向上事業

転作作物の生産拡大を促すため、作付に対して助成

米戸別所得補償モデル事業

主食用米の生産に対し所得を補償

町報5月号にも詳しくご紹介しています。

問い合わせ先

鳥取県農政事務所 地域課(0859・27・1721)

北栄町役場北条庁舎 産業振興課(36・5565)

J A鳥取中央北栄営農センター 水田営農対策課

(49・1151)

〔編集後記〕

農業にとって、自然の力は恵みでもありますが、時には怖い存在でもあります。

今年は天候不順により、さまざまな作物に影響が出ているようです。

挨拶の言葉が「どがなえ、今年はいけんわー」そんな言葉がよく聞かれます。

しかし農業には限りない可能性があります。農地さえあれば次なる作物で生活できる知恵が湧いてきます。こんな時こそ、農業人としての力を発揮する時だと思いませんか。

これから暑い夏に向かいます。そして待ちに待った収穫の夏でもあります。

夏バテにならないよう身体には充分気をつけて頑張りましょう。

広報委員 淀瀬千賀子 河原廣美 前田浩明

森本真理子 太西仁美 齋尾智弘